

I. 温故知新：シベリア人参と五加皮

<p>ロシア・欧州 「エレウトロコック」 (命の根)</p> <p>使用部位：根・根茎</p> <p>【1960年頃】旧ソ連 世界初 有効性の確認 ● 忍耐力 ● 抵抗力の増強 ● 疲労回復 【1962年】旧ソ連 薬理学委員会医薬品承認 ● 強壯剤 【1966年】 宇宙飛行士の利用 【1980年】モスクワオリンピック アスリートの利用</p> <p>【1997年】ロシア薬局方 XI 【1999年】英国ハーブ薬局方 【2009年】ESCOP 収載 【2014年】EMA 収載 E.senticosus の根</p>	<p>日本 「エゾウコギ(蝦夷五加)」 (魔除け)</p> <p>使用部位：根・根茎</p> <p>【アイヌ人の利用】 魔除けの木として利用 【1870年】北海道開拓時代 「ヘビノボラス」/「トリトマラス」 忌み嫌われ、伐採対象に 【1996年】 E.senticosus maxim.と同等</p> <p>【2006年】 日本薬局方第 15 改正 「シゴカ」 E.senticosus の根茎(根を含む) と定義される 催眠鎮静 食欲増進</p>	<p>中国 「刺五加」 (不老長寿)</p> <p>使用部位：根</p> <p>* 2,000 年以上の歴史 【100年頃】神農本草経： 「五加皮(ウコギ属の根皮)」 《不老長寿に役立つ貴重な上薬》 【1578年】 本草綱目：「刺五加」 《寧得一把五加不用全金満車》 【2010年】 中華人民共和国薬典 刺五加と五加皮を識別</p> <p>「刺五加 (五加参)」 E.senticosus (根と根茎)</p> <p>「五加皮」 A.gracilistylus (根皮) 強壯作用を持つ 鎮痛剤</p>
<p>極寒の地で自生する強い生命力を持つ “アダプトゲンハーブ”</p>		
<p>シベリア人参 (<i>Eleutherococcus senticosus maxim.</i>)</p>	≠	<p>五加皮 (<i>Accountpanax gracilistylus</i>)</p>

II. 学術、欧州のハーブ医薬品・食品についての情報

- EMA (欧州医薬品審査庁)  
シベリア人参 評価レポート：システマティック・レビュー(2014.03.25 承認)  
“Assessment report on Eleutherococcus senticosus (Rupr. Et Maxim.) Maxim., radix”
- 文献情報のアップデート：セラミド、ニンニク
  - パイナップル由来セラミド、4 週間で皮膚バリア機能の改善を認める。(2014.12)  
「パイナップル由来セラミド経口摂取による日本人女性の皮膚機能改善効果」(応用薬理第87巻 第 3/4 号)
  - ニンニク含有製剤の血圧管理に対する有用性について：メタ・解析(2015.01)  
“Effect of Garlic on Blood Pressure: A Meta-Analysis” (J Clin Hypertens(Greenwich))
- 2015.01 EFSA (欧州食品安全機関)  
化学物質「ビスフェノール A (BPA)」は年齢問わず、健康上のリスクなしと発表。

III. 製品情報： 1) 滋養強壮系 シベリア人参 2) 外皮系 セラミド

素材名	シベリア人参乾燥エキス GMP099	ニップンセラミド RPS/RLG(※)、CP(とうもろこし)
規格成分	Eleutherosides E+B ≥ 0.9% (HPLC)	グルコシルセラミド(GlcCer) ≥ 3~6% (HPLC-ELSD)
推奨量/日	140~200mg/日 ※生薬 2~3g/日から換算	RPS 10~20mg/日 CP,RLG 20~40mg/日
作用機序の考察	* アダプトゲン作用： -主にブドウ糖活用によるエネルギー動員効果 -中枢神経系及びホルモン調整の変化による抗ストレス作用 -ホルモン及び仲介物質効果に対する作用 サイクリックヌクレオチド、プロスタグランジン量の変化を含む	GlcCer の経口摂取により * 皮膚バリア機能の向上作用 表皮のセラミド(角質層細胞間脂質)合成を上方制御する * 免疫系への影響： 自然免疫系の活性化によって獲得免疫が惹起される可能性が示されている
安全性試験	✓ 食経験有 ✓ 残留農薬試験	✓ 食経験有：1950年代 発見 ✓ 急性毒性試験 ✓ 遺伝子突然変異原生試験
有効性情報	✓ 虚弱 極度の疲労 疲労、集中力低下など 精神、身体能力低下、病後回復期 (EMA) ✓ 催眠鎮静 食欲増進 (日局 15 改正)  ★ EMA2014 システマティック・レビュー ★ ESCOP2009 ★ 日本薬局方第 15 改正	✓ 皮膚保湿効果 ✓ 大腸腺腫誘発抑制効果 ✓ アトピー性皮膚炎緩和作用 ✓ 免疫賦活作用  ★ Exp Dermatol. Vo.21, No.6, 448-52 (2012) ★ J. Oleo Sci., Vol.54, No.1,45-49(2005) ★ Eur. J. Lipid Sci. Technol. 112, 708-711(2010) ★ Lipids, 46, 505-512(2011)

IV. ワークライフバランス：

1) リレーウォークめざせ本州最西端：冬時間でできること

山口県下関 毘沙ノ鼻

★滋賀県大津市 歩行中 (462km/1020.6km、2015.1 末現在)

千葉県市川市 南行徳

2) 経営理念の改定

楽しみを集め伝えて  
元気で長寿の一薬を醸す

形を正す ↑ 筋をとおす

制定日：2003年 9月 1日  
第三改定：2014年 12月 3日  
「形を正す」と「筋をとおす」を理念の基礎としました。

3) 訃報のご連絡：

2014年12月3日 午前9時11分 弊社代表取締役 保坂純子が永眠いたしました。ここに生前のご厚誼に深謝し、謹んでご通知申し上げます。  
“What we have once enjoyed, we can never lose. All that we love deeply becomes part of us.”  
Helen Keller の言葉をスイス・フルタロム社 H.REMENSPERGER 氏と DR.M.H.KREUTER から頂戴しました。